

うぐいす会理事退任のご挨拶

前理事 藤解堯文

うぐいす会の先生方あけましておめでとうございます。今年も引き続きよろしく願ひいたします。

昨年暮れの忘年会で申し上げましたように、昨年9月喜寿を迎えたのを機に、昨年末をもって理事を退任したい旨を申し上げ、皆さんに了解していただきました。それに伴って新任の理事、常任幹事さんも就任されました。さっそく新常任幹事さんの発案、手腕でもってうぐいす会の運営、各種伝達方法も改善され、時代に促したペーパーレス化、電子メールでのやりとり・・・etc.に大きく舵を切ることになりました。そしてホームページも立ち上げられることになっています。我々アナログ世代よりデジタル世代への世代交代ということになりました。そこでそのホームページに理事退任の挨拶文を寄稿するように指示がありその要請にお答えすることにしました。

忘年会にて概略申し上げ、重複する部分もあるかと思いますが、わたしとうぐいす会との関わりとを述べることで責任を果たしたいと思います。

うぐいす会の歴史については、私一人のみ先輩から譲り受けた唯一の、一回のみ発行された記念の会報を持っていたので次の理事さんに引き継いでいます。この会報もホームページで紹介されることになっておりますので参考にしてください。

私は開業翌年の昭和56年2月に広カンのメンバー入りし、同時にうぐいす会にも入会しました（H.D9）。うぐいす会入会後はゴルフに対する情熱&モチベーションは高まり、有床診療所だったので公私共に超多忙だったがゴルフも手抜きせず。プロにもつかず我流で通してきました。上達するにつれうぐいす会でも数えきれないくらい賞をいただき年間ベストも20年以上は続けたと思います。47歳でH.D3にまで到達しました。

2003年頃（58歳）山崎孝男、沢崎忠男、中前恒則の前3理事の先生方が退任されて、それから約20年間、藤解、横山、豊島の3人で後任理事として微力ながらうぐいす会のお世話のお手伝いをしてきました。しかし63歳の時広カンのクラブチャンピオン大会の決勝で敗退（準優勝）。それ以降力の限界を悟り、バーンアウトして急にモチベーションが下がって、競技ゴルフより楽しむゴルフに転じての今回の引退です。理事を務めさせていただいていた間特に大きな問題も起こらず淡々と無難に役目を果たせて来ることができたのも会員の先生方のご理解とご協力によるものと感謝いたしているところです。

今後も先輩の後を追いかけて誰も記録していない最高齢まで現役続行を目標にうぐいす会で楽しませてもらうつもりです。引き続きよろしくお付き合いのほどお願いいたします。

2023年1月10日